

本町の未来を聞く



地域資源に磨きをかけ

太田 薫 議員

魅力ある町づくりを

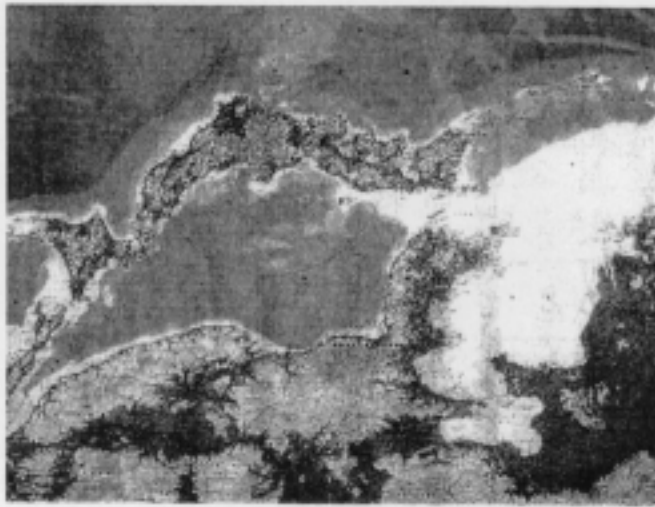
問 二十一世紀の北前船、
東方水上シルクロード構想の
中で、中国との定期フェリー
寄港地に酒田北港が挙げられ
ている。対岸のアジアから見
ても目指すのは酒田を含めた
鳥海の地であり、鳥海山なく
して何も語れないと言う。
とりわけ本町は日本の縮図
と言われる。全ての点におい
て恵まれている地域だが、
果たして迎え入れ
が、果たして迎え入れ
対策は万全だろうか。
伝統芸能や歴史上の偉
人、さらに自然と共生
する我々の生きざまと
いった本町の観光資源
(宝物)に一層の磨き
をかける必要がある。
また、同時にインフ
ラ整備も鳥海の地の発
展には不可欠な要素で
あるが、日沿道の進捗

状況はどうなっているのか伺
う。

町長 わが町は、秀峰鳥海を
はじめ豊かに恵まれた自然や
多くの文化財、そして佐藤政
養翁など近代日本を築いてき
た多くの偉人を育んだ優れた
風土がある。

これらを私たちの誇り、ポ
テンシャルとし、魅力ある町

遊佐町議会だより



アジア大陸から見た日本

づくりに活用していきたい。
また、国内はもとより中国
や韓国、台湾、ロシアなど北
東アジアを見据え、これまで
の民間交流を踏まえ観光や商
工業、農産物などの情報発信、
人的、経済的な交流を行うこ
とは大変重要である。

次に、日沿道の進捗状況は、
酒田みなど・遊佐インター間
の環境影響調査は大詰めのだ
階をむかえているが、遊佐イ
ンターと象潟間の環境影響調
査は今後予定され、一日も早
い整備計画区間への格上げを
強く要望していきたい。